

議会日誌

2~4月

主なものを載せています

- 2月3日 { 広報委員会
文教厚生常任委員会
- 8日 { 総務産業常任委員会
高校生議会
- 2月9日~10日 総務産業常任委員会研修 (水保・八代)
- 2月19日 { 議会運営常任委員会
全員協議会
臨時議会
全員協議会
地方創生調査特別委員会
- 2月25日~26日 文教厚生常任委員会研修 (苓北町)
- 2月29日 議会運営常任委員会
- 3月1日 町内企業訪問
- 3月8日 地方創生調査特別委員会
- 3月10日~17日 第2回南関町議会定例会
- 3月29日 老人ホーム延寿荘引き渡し式
- 3月31日 広報委員会
- 4月1日 ふるさとセンター安全祈願祭
- 4月6日 { 地方創生調査特別委員会
広報常任委員会
- 4月12日 総務産業常任委員会研修
- 4月21日 広報常任委員会
- 4月25日 全員協議会
- 4月27日 広報常任委員会
- 4月28日 文教厚生常任委員会

Topic! 真剣だった高校生議会



公職選挙法の改正で選挙権が18歳に引き下げとなり、高校3年生はその対象となるのをうけ、私は高校生議会を提案した。

それには大きな狙いがあった、最後の南関高校生としての思い出づくり、次に18歳からの政治に参加する大切な一票の意義について身を持って悟ってもらうこと、そして大切な狙いは、将来、生まれ育った自分たちの町づくりに携わってもらうことだった。

多くの高校やその生徒たちにより、模擬投票や選挙についての勉強が行われるなか、南関高校3年生は高校生議会開催を前提に、昨年12月の町議会の一般質問を傍聴された。しかしその時の一般質問は少々荒れぎみで中断するなど高校生の皆なに悪い印象を与えてしまった。本来、議会と言う場は討論の場であり、あれが議員としての本当の姿であることも知って頂き、良かったと思っている。

平成28年2月8日高校生議会当日、事前の打ち合わせもさることながら生徒たちは班ごとに真剣そして活発に質問、提案を町長や各課長になげかけた。「閉校後の跡地利用」「大型商業施設等の誘致」「乗り合いタクシーの町外へは・・・」など、どれも身近な問題であった。

「私たち議員も執行部も考えさせられ、今後の参考にしなければなるまい。」

高校生議会で議員役となった生徒たちは、今は卒業しそれぞれの道に進み希望と青春を満喫されていることだろうが、いつの日かきっと故郷の議員となって議場に立ち、皆が幸せになる町づくりを目指して頂きたいものである。

南関町議会議員 酒見 喬



編集 集 (広報調査常任委員会)
委員長 本田 眞二
副委員長 立山 秀喜
委員 立山 博明
委員 杉村 比呂志
委員 立山 比呂志

発行責任者
議長 酒見 喬

3月11日に南関中学校、24日には小学校の卒業式があり、私たちも来賓者として出席させて頂きました。その時の感想を述べます。

式の途中で、涙ぐむ卒業生が目立ち始め、中学校3年間、小学校6年間の思い出が走馬灯のように浮かんでは消えていき、友達やお世話になった先生方との別れで涙があふれ出たのではないかと察しました。

私たちも、40〜50年くらい前に、このようにして卒業式で巣立ったのかと懐かしく思い出され、卒業生を見てちよつぱり涙腺が熱くなりました。

4月からは「出発」の時期になります。新しい出会いや様々な活動へのトライが始まります。3月までの涙が4月から汗となり、また別れの時には光り輝く涙となるように一日一日を悔いのないように過ごしてもらいたいと思います。

そして私たちはそつと温かく見守っていきなりたいなと思えました。

(立山比呂志)

「美しい涙」

タイプブレイク
編集後記

